

■米国：カリフォルニア州、電力会社の破綻回避の基金を創設

カリフォルニア州のギャビン・ニューサム知事は2019年7月12日、電力設備を起因とした山火事の発生で電力会社が経営破綻することを回避するための基金（210億ドル）を創設する法案に署名した。今後、住民に被害があった場合、電力会社が支払う損害賠償金を本基金から補う。2019年1月、同州の電力大手パシフィック・ガス・エレクトリック社（本社：同州サンフランシスコ）は、2017年と2018年に同州で発生した山火事により、300億ドルを超える損害賠償費用が発生する可能性があるとして破産申請を行った。これを受けて、信用格付け機関は、同州の電力大手サザン・カリフォルニア・エジソン社（本社：同州ローズミード）とサンディエゴ・ガス・アンド・エレクトリック社（本社：同州サンディエゴ）について、山火事による巨額損害賠償を抱えるリスクを低減する法的な具体的対策が取られない限り、これら2社の格付けを下げる可能性を示していた。